

第7回 特別講座

村名主の日記から読む 幕末の和田村の様子

日時：2025年 9月25日(木)14:00-16:00 (開場13:30)

会場：窪田空穂生家 松本市和田1715-1(空穂記念館西) (資料代200円)

解説：林 信孝氏 (勝手に古文書勉強会 会員・松本まると博物館 市民学芸員)

申込方法：申込フォーム <https://forms.gle/9TS49vJMuknasSc7A>

電話の場合 9月15日～ 080-1227-3927(米山)

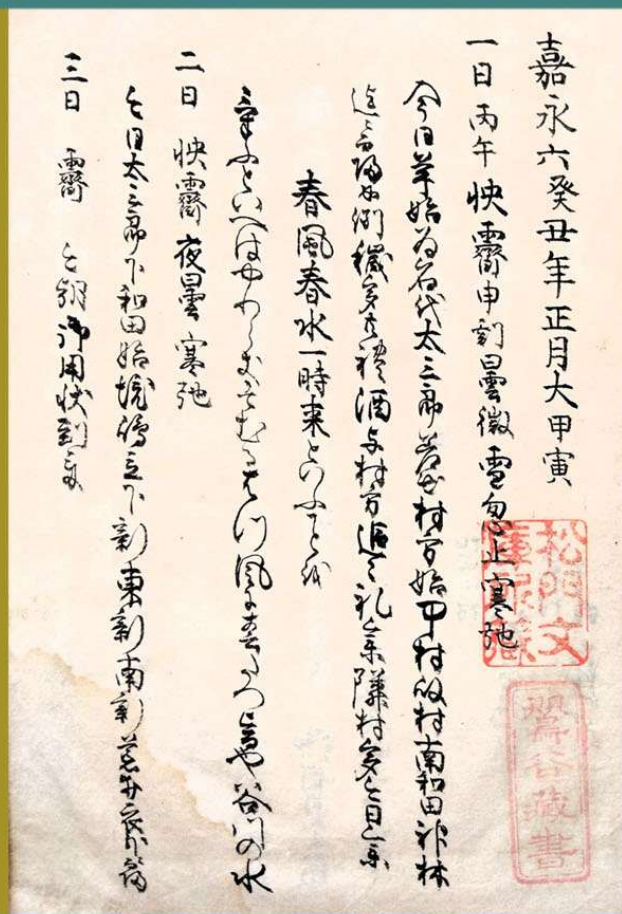
和田地区にお住まいの方は和田地区地域づくりセンター(和田出張所・公民館)
の窓口又は電話(48-5445)からも申し込みできます。(平日8:30～17:15)



『癸丑日記』の現代語訳を「勝手に古文書勉強会」(初心者有志の集まり)の会員が解説しながら、参加者とともに、約170年前の和田村の暮らしを垣間見ます。
※※※古文書が読めない方でもお気軽にご参加いただけます※※※

- お城からお呼び出し。
何を着て、何を持って
行ったのでしょうか？
- 御役所から取締の強化を命ぜられ
年に数回、会合を開くこととした。
その資金調達にしたことは？
- 郷倉の点検。
お米が五斗減っていた！
犯人は？？？

- ◆古文書が得意な方は口出しお願いします！
- ◆地元の方からの情報提供お願いします！



※癸丑日記…嘉永六年(ペリー来航の年)に書かれた
和田村の名主、窪田八郎右衛門の日記(松門文庫蔵)